

の共同研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

1) 理研とのトランスクリプトーム共同研究：西暦 2017 年 5 月 15 日より 2019 年 9 月 30 日までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行う百寿者、超百寿者研究にご参加いただいたご本人およびご家族の皆様の血液サンプルを用いて理化学研究所との共同研究により 1 細胞ごとの RNA 解析を行った方。

2) DeepMind, グーグル合同会社との AI を用いた解析研究：西暦 2001 年 4 月 1 日より 2019 年 9 月 30 日までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター (旧老年内科) が行う百寿者、超百寿者研究にご参加いただいたご本人の血液から抽出した遺伝子 (DNA) の全ゲノム配列解析を行った方。

2 研究課題名

承認番号 20021020

研究課題名 包括的国際百寿者研究 ―健康長寿達成に向けて：第 1 部 寿命関連遺伝子 (長寿遺伝子) と加齢関連遺伝子の同定

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター

共同研究機関

研究責任者

理化学研究所生命医科学研究センターゲノム機能医科学研究部門

Piero Carninci (部門長)

理化学研究所生命医科学研究センターゲノム機能医科学研究部門

橋本浩介 (専任研究員)

DeepMind Technologies Limited (イギリス)

Ziga Avsec (研究員)

グーグル合同会社 (日本)

Joe Ledsam (研究員)

既存情報の提供機関

提供者

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC)

4 本研究の意義、目的、方法

1) 理研とのトランスクリプトーム共同研究：認知症や動脈硬化症、フレイルなど老化に伴う病気や機能低下は世界的な健康問題となっており、健康長寿研究の発展は国際的にも重要な課題です。近年、医学雑誌編集者国際委員会 (ICMJE) の声明にあるように、国際ジャーナルに発表された研究結果およびその根拠となる元データは公的データベースに登録され、確立された研究者によるデータ共有、新たな研究への活用が強く推奨されています。今回、理化学研究所が

行った 1 細胞レベルの RNA 発現解析研究の結果、110 歳以上のスーパーセンテナリアンの方では特徴的な T リンパ球が増加していることが明らかにされました。これは高齢になっても免疫の働きを保つうえで重要な意義を持っている可能性があります。今後、さらに研究を進める必要がありますが、そのためには世界の研究者に解析データを活用してもらい、より専門的な見地からの新たな発見が期待されます。そこで理化学研究所生命医科学研究センターゲノム機能医科学研究部門で解析した超百寿者の方 およびご家族の方々の血液細胞 1 細胞ごとの RNA 配列を国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) に登録させていただきます。

2) DeepMind, グーグル合同会社との AI を用いた解析研究: 百寿者 (100 歳以上の高齢者) および超百寿者 (105 歳以上の高齢者) はがんや糖尿病の罹患率が低く、日常生活における介護を必要としない期間が長く、我々は健康長寿のモデルとして注目しています。その考えに基づき、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターでは長年にわたり日本の百寿者、超百寿者の方々の遺伝子解析を進め、がんや糖尿病にかかりにくい遺伝子、健康長寿を支える遺伝子の研究を進めております。Alphabet Inc. 傘下の DeepMind 社はイギリスの人工知能 (AI) 研究企業で、同社が開発したプログラム AlphaGo が、2016 年に人間のプロ囲碁棋士を初めて破ったことで一躍、有名になりました。本研究課題では、すでに百寿総合研究センターで遺伝子解析が完了した約 500 名の百寿者、超百寿の解析データと東北メディカル・メガバンクで遺伝子解析が行われた約 3,500 名の一般住民の集団としての解析データ (統計値) を、DeepMind 社が開発したゲノム発現形予測モデルを用いて、同じく Alphabet Inc. 傘下の IT サービス開発企業であるグーグル合同会社と共同で比較検討することにより、超長寿者に特徴的な遺伝子の働きを解明することを目指しています。本研究課題では、個人のゲノム情報は一切取り扱いません。

5 協力をお願いする内容

1) 理研とのトランスクリプトーム共同研究: 超百寿者の方 7 名、およびご家族 4 名の方々の血液細胞 1 細胞ごとの RNA 配列を国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) に登録させていただきます。NBDC では、世界の研究機関で倫理審査会に承認された確立された研究者にのみ、登録データを共有します。これにより、健康長寿と遺伝子発現の研究が発展することが期待されます。

なお、超百寿者の方は稀少ですので、本データを用いた解析結果を論文等で発表する場合には、個別のサンプルについて SNP 等の遺伝情報を示さない等の制限をつけたデータ共有とします。

今後も本研究からの解析結果が科学雑誌などに公開されるときには、研究結果が本当に正しいのか第三者の研究者が検証したり、研究結果を応用してさらに健康長寿研究を発展させる目的で、公的データベースに登録され、確立された研究者に公開されることがあります。

2) DeepMind, グーグル合同会社との AI を用いた解析研究: この研究では皆様からすでに解析が完了している遺伝子 (DNA) の集団としての頻度情報 (統計値) を利用して新たな解析を行うもので、今回改めてご協力をお願いすることはありません。また、氏名、生年月日、住所、電話番号など個人識別情報は一切取り扱いません。

6 本研究の実施期間

- 1) 西暦 2015 年 11 月 27 日 より西暦 2021 年 06 月 30 日 まで
- 2) 倫理審査会承認日 より西暦 2026 年 06 月 30 日 まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究では、研究参加者の皆様の個人情報（氏名、生年月日、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う研究参加者の皆様の血液から抽出したリボ核酸（RNA）は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 研究参加者の皆様の個人情報と、匿名化したりボ核酸（RNA）を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、すでにご提供いただいた血液サンプル抽出した RNA の解析情報を NBDC の公的データベースへの登録の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

<お問合せ先>

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部・百寿総合研究センター・新井康通、広瀬信義（元特別招聘教授）

電話番号およびファックス番号：03-5269-2468（直通）

E-mail: yasumich@keio.jp 新井康通

以上